

横浜国立大学工学部物質工学科工学系同窓会

【目次】

- ❖ 上ノ山会長 御挨拶
- ❖ 福田 淳二准教授の研究紹介
- ❖ 活動報告
- ❖ 2011年度の会計報告
- ❖ 教職員の異動・受賞
- ❖ ホームカミングデーのお知らせ



上ノ山会長 御挨拶

横浜三工会が平成19年10月に発足し、はや6年が経とうとしております。工学部物質工学科の物質とシステムのデザインコースならびにバイオコースの卒業生を基軸とし、関連の大学院修士生さらには横浜化工会、横浜安工会、横浜エネルギー会、環境エネルギー安全工学同窓会の既会員を包含する形でスタート致しました。本会に縁の飯田嘉宏前学長が創出されたホームカミングデーに呼応する形で、同日に総会・特別講演会を年1回開催し、総会では在学生の成績優秀者を表彰して参りました。本年度もそのように準備を進めております。この間、青天の霹靂とも云うべき、東日本大震災に見舞われましたが、その前の年度には、エネルギー工学棟が、また震災のあった年には、化工・安工棟も耐震改修工事を完了しておりましたことは、不謹慎な言い方も知れませんが、本当に幸運なことでした。

さて横浜三工会丸は緩やかに船出を致しましたが、その求心力は必ずしも高いとは言えないと感じております。運営は学内教員の幹事によるボランティアによって支えられておりますが、これも限界に近づきつつあります。折しも工学部は、3年前に組織改編を成し、理工学部となり、物質工学科は、化学・生命系学科となりました。平成26年3月をもって、物質工学科は、最後の卒業生を送り出します。すなわち、横浜三工会の発足時に想定した母体が変わりつつあり、同窓会も新たな器を必要としているように考えます。実は、理工学部化学・生命系学科が初めての卒業生を世に送り出す平成27年3月末を一つの目処に化学系同窓会組織である国大化学会とも卒業生のデータの共有化を図ることから始め、化学・生命系学科として1つの同窓会を立ち上げることを検討し始めております。これと併行して理工学部同窓会さらには全学校友会なる構想も進められております。

いろいろとご意見もあり、また新たな器を得るためには、解決すべき大きな課題も幾つか在るのも事実ですが、時代の荒波に翻弄されず、確固たる組織へと変貌するためには、この方向が一番良いように考えております。皆様のご理解と倍旧のご支援を賜りますよう、ここに伏してお願いし、私のご挨拶とさせていただきます。

平成25年9月吉日

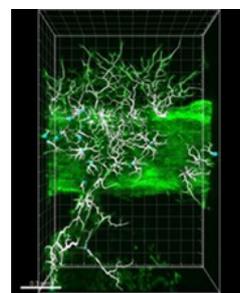
横浜三工会会長 上ノ山 周

工学研究院 機能の創生部門福田 淳二准教授の研究紹介

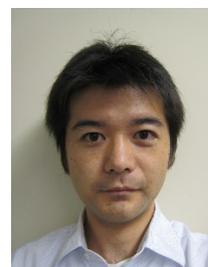
「未来の医療を切り拓く再生医療と細胞組織工学の今」

2013年1月1日付けで横浜国立大学に着任しました。九州大学大学院化学システム工学専攻博士課程を修了後、北九州市立大学 Post doctor、Massachusetts Institute of Technology Post doctor、筑波大学物質工学系講師、Harvard Medical School Visiting Professor を経て、横浜国立大学にて自分のラボを立ち上げることになりました。

私は、微細加工、電気化学、化学工学などの技術・方法論を用いて、動物細胞などの培養および評価のためのデバイス開発に取り組んでいます。最近特に力を入れているのは、再生医療のためのデバイス開発です。再生医療では、iPS細胞を使って移植組織が作られ、いよいよ人の治療が始まろうとしています。まさに夢の近未来医療として期待されていますが、使用できる移植組織は今のところ1mm以下の非常に薄いシート状のものに限られています。その原因は明らかで、血管構造を細胞組織のなかに組み込む技術がないためです。酸素を拡散のみで供給しようとすると1mm以下の範囲にしか届かないのは、物質移動の初歩を習っていれば明白です。私は、培養液を送液できる血管様構造体を電気化学反応を利用して作製する独自技術を開発してきました(右図)。ホームカミングデーの講演にてご紹介しますので、ご来聴頂けたらと思います。また、このような学際領域では共同研究も重要で、横浜国立大学の先生方と何か始められないか模索中です。見かけたら是非お声掛け下さい。



作製した毛細血管様構造の共焦点顕微鏡像



2012 年度横浜三工会総会・特別講演会・懇親会を開催

横浜三工会総会・特別講演会・懇親会を2012年10月27日(土)に開催致しました。総会において、2011年度の活動報告、会計報告が承認されるとともに、物質工学科物質のシステムとデザインコース4年生10名、バイオコース4名を対象として、上ノ山 周会長から学業優秀者の表彰として横浜三工会学生奨励賞を14名に授与致しました。また、総会では松本幹治名誉教授から特別講演を頂き、その後、懇親会を第7回ホームカミングデーとジョイントする形で実施しました。



2011 年度会計報告

2012年度の横浜三工会総会で承認されました2011年4月1日～2012年3月31日までの会計を以下に報告させていただきます。

収入		支出	
平成22年度繰越金	1,944,069	工学部同窓会連合年会費	80,000
卒業生・修了生年会費(H24年3月)	229,000	平成23年度総会費用(ラベル、資料発送、アルバ)	429,539
郵便振込(年会費、寄付金など)	604,600	イト代、学生表彰(懇親会))	
総会参加費(当日分)	60,000	学生表彰(優秀賞)	54,510
その他(利息)	330	名簿アルバイト代	27,000
		その他(香典、振入手数料他)	25,900
		小計	616,949
		振替口座残高	0
		普通貯金残高	2,057,826
		手元現金残高	163,224
		残高小計	2,221,050
合計	¥2,837,999	合計	¥2,837,999

教員の異動

2013年1月1日付けで福田淳二准教授が着任されました。

小川輝繁名誉教授が「平成25年度安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞！

2013年7月1日に小川輝繁名誉教授が「平成25年度安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。この受賞は、安全工学分野における深い学識のもと、火薬事故のみならず高圧ガス事故の発生原因究明調査と再発防止策のとりまとめにおいて中心的な役割を果たすとともに、我が国の火薬類保安の向上に多大な貢献が評価されたものです。

大谷英雄教授が「平成25年度厚生労働大臣表功績賞」を受章！

2013年7月1日に大谷英雄教授が「平成25年度の厚生労働大臣表功績賞」を受章しました。この受賞は、大学における労働安全に関する研究・教育や公益財団法人安全衛生技術試験協会の理事としての貢献が評価されたものです。

ホームカミングデーのお知らせ

2013年10月26日(土)に第8回ホームカミングデーが開催されます。今年は相澤益男元東京工業大学学長によるメイン講演、福田淳二准教授のご講演等、充実した企画が予定されており、以下のURLにホームページが開設されております。横浜三工会の皆様のご参加を心からお持ち申し上げております。(http://homecoming.ynu.ac.jp/)

横浜三工会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学工学部物質工学科物質のシステムとデザインコース内

TEL : 045-339-3991, FAX : 045-339-4012, E-mail : sanko@ml.ynu.ac.jp

http://www.msdl.ynu.ac.jp/lab/sankou-kai